

# 第6期高津区区民会議 第6回全体会議 資料集

- |        |                     |       |
|--------|---------------------|-------|
| ●資料1・2 | 各専門部会の活動報告          | P. 1  |
| ●資料3   | 区民会議フォーラム（案）        | P. 11 |
| ●資料4   | 第6期高津区区民会議報告書の構成（案） | P. 12 |
| ●資料5   | たかつ区区民会議ニュース第5号（案）  | P. 15 |
| ●資料6   | 第6期高津区区民会議スケジュール    | P. 17 |
| ●参考資料  | みんなで差別をなくしていこう      | 別紙    |

平成29年12月14日(木) 午後6時～  
高津区役所 第2・3会議室



## 活き活きまちづくり部会 活動報告

### 1 調査審議テーマ

- ①障害者に対する差別解消と理解促進
- ②高齢者の生きがいつくり

### 2 これまでの検討経過

日 程	会 議 名	実 施 内 容
9月27日	第5回全体会議	各専門部会の活動報告など
10月26日	第8回専門部会	・障害者差別解消にかかる区民向け 広報用パンフレットについての検 討 ・高齢者の生きがいつくりについて 課題の洗い出し など
11月16日	第9回専門部会	・高齢者の生きがいつくりにかかる 勉強会 など

#### (1) 第8回活き活きまちづくり部会

開催日時 平成29年10月26日（木） 午後6時00分～7時40分  
場 所 高津区役所5階第3会議室  
参 加 者 区民会議委員11名

#### ア 障害者差別解消にかかる区民向け広報用パンフレットについて

以前作成した調査報告書は、文章も多く、区民向けには難しい内容であることから、別途区民向け広報用パンフレットを作成することになり、内容について検討した（区民向け広報用パンフレットについては別紙参照）。

配布先について、委員から当初予定していなかった町内会・自治会への回覧要望があり、調整することになった。

⇒町内会・自治会への回覧が可能になった旨を第9回活き活きまちづくり部会で報告済み。

#### イ 高齢者の生きがいつくりについて

高齢者の生きがいつくりについて、課題の洗い出しを行った。主な意見は次の通り。

#### 【主な意見】

- ・生きがいつくりの好事例にある大山自治会は大変良い活動をしているので、参考にしてはどうか。
- ・高齢化が進む一方で老人クラブのメンバーは減少している。まずは高齢者

の実態を把握するため、老人クラブの方からお話を聞いてはどうか。

- ・各団体はそれぞれ活動しているが、横のつながりが薄いので発展しづらいのではないか。
- ・各団体の後継者不足が衰退の原因の一つではないか。その辺りをサポートできる仕組みがあると良い。

など

## (2) 第9回生き活きまちづくり部会

開催日時 平成29年11月16日(木) 午後6時00分～7時40分

場 所 高津区役所5階第3会議室

参加者 区民会議委員5名

### ア 高津区老人クラブの現状について

高齢者の実態を把握するため、高津区老人クラブ連合会の横山会長からお話を伺い、意見交換を実施した。主な意見交換は次のとおり。

#### 【主な意見交換】

- ・老人クラブは65歳以上が正会員という扱いになるが、若返りを図るために60歳から準会員として趣味のサークル活動には参加が可能である。
- ・活動内容としては、社会貢献活動として、町内会・自治会と一緒に地域の清掃活動を行ったり、市老連と共同で多摩川河川敷の清掃活動を年に二回やっている。他にも町会と連携してパトロールを実施したり、子どもたちと昔遊びもしている。友愛活動としては、地域の独り暮らしの高齢者など、日常生活が難しい人に声掛けをして会に出て来てもらい、多少の手助けになることをする。対象者を募り、年間を通じてその人たちを相手に活動をする。
- ・定年を迎えた男性は家に閉じこもりがちで、外に出て他の人に会うのを好まない人が多い。メンバーを増やすには、同じ地域の高齢者一人ひとりが地域の人に声かけ運動をするのが、一番効果がある。
- ・高齢者の中で外に出られなくなった人には、話し相手になることが生きがいになる。

など

### イ 高津区内における高齢者の地域活動の現状について

高津区内における高齢者の地域活動の現状について、高津区役所保健福祉センターみまもり支援センター地域支援担当の北村担当課長からお話を伺った。主な意見交換は次のとおり。

#### 【主な意見交換】

- ・高津区ではマンションに住んでいる方の割合が高く、パークシティ溝の口では防災訓練だけでなく、高齢者の集まりもやっている。パークシティ溝の口が中心になり近くのタワーマンションに声を掛けて、先輩マンションとして

後輩のマンションに指南をする活動をしている。また、久本町会ともどうつながれるか会議を持ってやっているところなので、そういう活動を他のマンションに広げていけると良い。

- ・高齢者の生きがいについて、これだったら人を呼べるというものは人によってさまざまなので、いろいろな場所を準備する。人間関係が煩わしいというのもアンケートにあったので、煩わしくない集まりが必要と思ったり、そういう方に対しては傾聴ボランティアの派遣などが効果的である。
- ・家族関係が良い方で家族同士がメールやLINEでつながっている方はいるが、SNSなどのつながりについては、そう多くは無い。
- ・現地視察の候補としては、落語カフェ、音楽カフェ、高津スポーツセンターで行われている健康体操教室などはいかがか。

など

**方向性：**

- ①障害者に対する差別解消と理解促進については、区民向け広報用パンフレットをまとめて調査審議を終了とする
- ②高齢者の生きがいづくりについては、当事者および関係者がどのように感じているかを調査する



**区民会議としての取組：**

- ①区民向け広報用パンフレットを作成し、関係機関への配布をもって調査審議を終了とする
- ②勉強会や現地視察を実施し、当事者および関係者へのヒアリング結果を踏まえて高齢者の生きがいづくりについての調査内容をまとめる

## 防災まちづくり部会 活動報告

## 1 調査審議テーマ

共助による防災まちづくり

## 2 これまでの検討経過

日 程	会 議 名	実 施 内 容
9月27日	第5回全体会議	各専門部会の活動報告など
10月 5日	第7回専門部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パークシティ溝の口共同防災管理協議会の山本会長をお招きし、共助による防災まちづくりについて、事例を交えた講演の実施</li> <li>・子母口北町会防災訓練における、共助の意識を高める実践メニューの検討 など</li> </ul>
11月 5日	子母口北町会防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共助に関する〇×クイズ</li> <li>・車椅子の操作講習</li> <li>・アンケート調査の実施 など</li> </ul>
10日	第8回専門部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの集計結果を基に、共助の意識を高める取組について検討</li> <li>・これまでの取組の振り返り など</li> </ul>

## (1) 第7回防災まちづくり部会

開催日時 平成29年10月5日(木) 午後6時00分～8時00分

場 所 高津区役所5階第4会議室

参加者 区民会議委員10名

## ア 共助による防災まちづくりに関する講演

パークシティ溝の口共同防災管理協議会の山本会長をお招きし、共助による防災まちづくりについて、事例を交えて講演いただいた。お話の要旨は次のとおり。

## 【要旨】

- ・ママさんたちのLINEの情報網は、一気に情報が広がる。ママさんたちの行動力と情報発信力は凄い
- ・内容は防災訓練だが、チラシを含め、「訓練」という言葉は使用していない。訓練だと義務感が出てしまうので、「楽しむ」「知り合う」を前面に出すと人は集まる

- ・減災ガールズを例に挙げると、ピンクのエプロンを作ったり、タウンニュースなどで紹介されると、楽しいからやりたいとなる。最初は3つのマンションだけだったが、今は溝の口のいろいろな所から女性が集まっている。
- ・大きな訓練やイベントだと時間やお金がかかり疲れてしまうので、なるべく無理をせず小さな訓練を複数回やる手もある。自分たちがやっていることを共有する目的で近隣のマンションや団体で、それぞれの防災に対する取組の事例発表会を開催したが、大変有意義であった。

など



山本氏のお話の内容は、第6回専門部会で導き出した5つのキーワード「イベント」「楽しく」「女性・若い世代」「日常的」「自分事」に合致した内容であることを確認できた。

#### イ 共助の意識を高める具体的な取組について

共助の意識を高める他都市の好事例を参考に、子母口北町会防災訓練で実施してもらう具体的なメニューについて、意見交換を実施した。

#### (2) 子母口北町会防災訓練

開催日時 平成29年11月5日(日) 午前9時40分～12時00分

場 所 橘樹神社

参加者 区民会議委員4名

通常の防災訓練では、放水訓練、ロープワーク訓練、救命救護訓練、AED訓練を実施し、共助の意識を高める取組として、共助に関する〇×クイズや車椅子の操作講習を行い、最後にアンケート調査を実施した。放水訓練において、放水する人、元栓を開閉する人、ホースの中間で号令の伝令をする人など、一人ではできない旨の説明があった。これらの作業をスムーズに行うには、共助の意識や普段から顔見知りになっていることの重要性を改めて認識した。



【共助に関する〇×クイズの様子】



【車椅子の操作講習の様子】

### (3) 第8回防災まちづくり部会

開催日時 平成29年11月10日(金) 午後6時00分～8時10分

場 所 高津区役所5階第3会議室

参加者 区民会議委員10名

ア 子母口北町会の防災訓練におけるアンケート結果について

アンケート結果について説明し、意見交換を実施した。意見交換では、中学生(若い世代)の参加についてや、障害のある方への対応、地元の消防団との関わりなどについて話し合われた。

※アンケート内容、結果については資料集7～10ページ参照

イ 提言に向けたこれまでの調査審議の振り返りについて

これまでの調査審議内容について振り返った後、意見交換を実施した。意見交換では、知らない同士が日常から挨拶する関係＝「顔の見える関係」が基本にあることや、社会的弱者への対応などについて話し合われた。また、時期が合えば、避難所開設訓練の見学も検討することになった。



#### 今後の取組：

さまざまな機会を捉えて、「自助」「共助」の啓発を行うとともに、これまでの調査審議を踏まえて提言につなげる



# 子母口北町会防災訓練に関するアンケート

高津区区民会議では、防災対策には「自助」「共助」が重要であると認識し、今回の防災訓練において『共助の意識を高める取組』を試行的に実施していただきました。実施内容について、皆様の声をお聞かせください。



※「共助」とは…身近な人たちがお互いに助け合うことです

## 1 年代

20歳未満 20代 30代 40代 50代 60代以上

## 2 性別

男性 女性

## 3 今回の防災訓練を何で知りましたか

回覧板・掲示板 市政だより 知人の紹介 その他( )

## 4 参加回数

初めて 2回目 3回目 4回目 5回以上

共助（身近な助け合い）の意識を高めるための試みとして実施した2つのプログラムの感想をお聞かせください。



## 5 車椅子の操作講習について

共助の意識が

高まる内容だった どちらともいえない 高まらない内容だった  
(理由・感想など: )

## 6 O×クイズについて

共助の意識が

高まる内容だった どちらともいえない 高まらない内容だった  
(理由・感想など: )

## 7 防災訓練で、共助の意識を高める取組・メニューなどのアイデアがありましたらお聞かせください。

( )

ご協力ありがとうございました。

# 防災〇×クイズ

防災に関する問題を出し、YesかNoかで応えてもらう。

Yesなら両手で〇、Noなら両手で×を作ってもらおう。

不正解の方はしゃがみ、正解の方のみ起立したまま次の問題に回答可能。

問 題

正解及びコメント

Q1

子母口北町町会の指定避難所は東橋中学校、子母口小学校である。〇か×か？

【正解 〇】

Q2

高津区の指定避難所は22箇所。〇か×か？

【正解 〇】

高津区の人口約23万人に避難所は22カ所。

Q3

避難所の運営の実施主体は学校の先生である。〇か×か？

【正解 ×】

町会・自治会・自主防災組織・ボランティア・施設管理者・行政による「避難所運営会議」が行います。

Q4

阪神淡路大震災では、崩れた建物から、救出されたほとんどの人は、消防・警察・自衛隊に助けられた。〇か×か？

【正解 ×】

8割近くの方が、近隣住民などにより助けられました。すぐに駆けつけられるのはご近所の方です。地域住民が協力する「共助」が大事です。

Q5

地震が発生したので、ひとりで身軽に避難した。〇か×か？

【正解 ×】

単独行動は危険を伴うことがあるので、近所の人と声掛け合って避難するのが適切です。

Q6

エレベーターの中で地震にあった時は1階のボタンを押す。〇か×か？

【正解 ×】

全ての階のボタンを押し、最寄りの階で降りましょう。

Q7

災害時などに伝言が録音できる、NTTの災害用伝言ダイヤルの番号は「171」である。〇か×か？

【正解 〇】

NTTの災害用伝言ダイヤルの番号は「171」です。

Q8

外にいるときに大地震が起こった場合、近くにガソリンスタンドがあれば一時そこに避難するのが安全。〇か×か？

【正解 〇】

ガソリンスタンドは、消防法や建築基準法で厳しく定められており揺れにも火事にも強い施設。阪神淡路大震災でもつぶれるところは無かったし、火事の延焼も止まった箇所もあります。

Q9

寝ているときに地震が起きた時は、ふとんにもぐりこむ。〇か×か？

【正解 〇】

そばに避難できるスペースがある場合は別ですが、まずは落下物や倒壊物から身を守るために、揺れが収まるまでふとんの中へもぐりこみましょう。

Q10

日本は地震の多い国で有名ですが、世界中の地震の約7%が日本とその周辺で起きている。〇か×か？

【正解 ×】

約10%、1割が日本とその周辺です。

## 子母口北町会防災訓練（平成29年11月5日実施） 参加者アンケート集計

※問3は、複数回答を含めて集計（回答者48名）

### 1 年代

年代	人数
20歳未満	14
20代	0
30代	1
40代	6
50代	2
60代以上	23
無回答	2

### 2 性別

性別	人数
男	30
女	18

### 3 今回の防災訓練を何で知りましたか

知った理由	人数
回覧板・掲示板	26
市政だより	0
知人の紹介	7
その他（部活）	14
その他（町会）	2

### 4 参加回数

参加回数	人数
初めて	27
2回目	1
3回目	3
4回目	4
5回以上	13

### 5 車椅子の操作講習について

車椅子の操作講習	人数
共助の意識が高まった	34
どちらともいえない	8
共助の意識は高まらない内容だった	0
無回答	6

#### 〔理由・感想〕

- ・主人の車椅子を5年間押しました
- ・自分のおばあちゃんが車椅子だったが、知らないことがたくさんあった
- ・車椅子の開き方など、詳しいことをいろいろと教えてもらった(6)
- ・車椅子体験ができて、ありがとうございました
- ・初めて知ることがたくさんあった(3)
- ・初めての取組で新鮮でした
- ・説明が詳しく、有意義だったが、時間が少なかったのが残念でした

## 6 ○×クイズについて(問題については別紙参照)

○×クイズ	人数
共助の意識が高まった	43
どちらともいえない	2
共助の意識は高まらない内容だった	0
無回答	3

### 〔理由・感想〕

- ・知らないことが結構あり、参考になった(8)
- ・ガソリンスタンドが安全な建物ということを知った(4)
- ・いろいろと難しい問題があったので、楽しく学べた(3)
- ・エレベーターに閉じ込められたときの対処法が学べた
- ・これからの生活に役立ちそうだった

## 7 防災訓練で、共助の意識を高める取組・メニューなどのアイデアがありましたらお聞かせください。

- 各世帯に簡単なマニュアルがあれば良好。
- 私は障害があるので、民生委員の方などに把握してもらって、情報を早く提供して欲しい。
- 事前の広報をしっかりと実施すると参加者も多くなる。
- 手話通訳を派遣してもらいたい。(3)
- 耳の不自由な方が何を必要としているのか、コミュニケーションのために簡単に通じやすいゼスチャーを知りたい。
- とても素晴らしい内容で、たくさんの知識を得られました。
- 見知らぬ人とも一緒に取り組みやすくなるよう、チーム毎に競うような取組を実施する。
- 地域活動として大切です。
- クイズ形式で教えれば、子どもも分かりやすく、楽しく学べると思います。
- 小規模の訓練にして回数を増やす(開催する時間・曜日などを数種用意する)。
- 映像を見せる。
- 免許のようなものや認定証などを発行。
- 本物の火を使った消化訓練。
- 絵などを使った説明。

(案)

## 第6期高津区区民会議フォーラムについて

### 1 目的

第6期高津区区民会議では、「生き活きまちづくり部会」、「防災まちづくり部会」の2部会を設け、それぞれのテーマである「子どもの地域参加」、「障害者に対する差別解消と理解促進」、「高齢者の生きがいをづくり」、「避難所を知ろう」、「コミュニティ強化（共助）による防災まちづくり」について調査審議し、課題解決に向けた具体的な取組を行ってきた。

本フォーラムでは、第6期高津区区民会議における調査審議や取組の結果を報告するとともに、区民との意見交換・交流を行い、課題解決に向けた取組の参考とすることを目的とする。

### 2 日時

平成30年3月前半

### 3 会場

高津区役所 5階会議室

### 4 プログラム構成

#### (1) 第1部 各部会の活動報告

- ① 生き活きまちづくり部会
- ② 防災まちづくり部会

#### (2) 第2部 講演

テーマ：(ア) 共助による防災まちづくり or (イ) パラアスリートによる講演会  
講師：未定

### 5 広報

- (ア) 区ホームページ、区役所等の公共施設でのチラシ配布、自主防災組織やマンションへのチラシ送付など
- (イ) 区ホームページ、区役所等の公共施設でのチラシ配布、町内会・自治会や障害者施設へのチラシ送付など

## 第6期高津区区民会議報告書 構成案

タイトル	主な内容
はじめに	・遠藤委員長あいさつ
<b>I 第6期高津区区民会議について</b>	
1 区民会議の目的	・区民会議の設置の目的を完結に記載する。
2 区民会議の課題解決までの流れ	・課題解決に向けた流れを記載する。
3 第6期の区民会議の進め方	(1) 全体会議、三役会、専門部会の設置 ・区民会議の体制について記載する。 (2) 第6期高津区区民会議の開催状況 ・会議の開催状況を一覧的に整理し記載する。 <b>参考：委員の名簿</b>
<b>II 課題の把握と選定</b>	
1 区民会議委員による地域課題の把握と分類	・委員から提案された課題を、テーマごとに整理・分類する。
2 2つの専門部会の設置	(1) 2つの専門部会の設置 ・課題分類の結果を踏まえて設置された2つの専門部会の内容を記載する。 (2) 専門部会設置の留意点 ・設置に当たっての留意点について記載する。 例：委員は必ずいずれかの部会に所属する所属していない部会への参加を認めるアクションを盛り込む 等
<b>III 各部会の取組</b>	
1 生き活きまちづくり部会	(1) 審議課題の内容 ・3つの取組テーマについて説明する。 ①子どもの地域参加 ②障害者に対する差別解消と理解促進 ③高齢者の生きがいづくり (2) 審議の経過 ・審議経過について一覧的図式し記載する。 (3) -1 子どもの地域参加 ①調査・審議過程のアクション ・子どもの地域参加事例視察・ヒアリング ②課題解決に向けたアクション ・「7つの視点～子どもの地域参加を広げよう!!～」作成

	<p>(3) -2 障害者に対する差別解消と理解促進</p> <p>①調査・審議過程のアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「障害者差別解消法」勉強会の開催</li> <li>・障害者施設管理者及び利用者アンケート</li> <li>・障害者施設視察・ヒアリング</li> <li>・オープンエアメーカー養成講習の受講</li> </ul> <p>②課題解決に向けたアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者向け「障害者に対する差別の解消と理解の促進～みんなで差別をなくしていこう～」作成</li> <li>・一般向け「みんなで差別をなくしていこう」作成</li> </ul> <p>(3) -3 高齢者の生きがいづくり</p> <p>①調査・審議過程のアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の生きがいづくり事例収集</li> <li>・高齢者の生きがいづくり講演</li> </ul> <p>②課題解決に向けたアクション</p> <p>(4) 提言</p>
<p>2 防災まちづくり部会</p>	<p>(1) 審議課題の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの取組テーマについて説明する。</li> </ul> <p>①避難所を知ろう</p> <p>②共助による防災まちづくり</p> <p>(2) 審議の経過</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議経過について一覧的図式し記載する。</li> </ul> <p>(3) -1 避難所を知ろう</p> <p>①調査・審議過程のアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所運営ゲーム</li> <li>・たかつあん☆あんフェスタシールアンケート</li> </ul> <p>②課題解決に向けたアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たかつあん☆あんフェスタへの参加</li> <li>・「避難所をもっとよく知ろう」作成</li> </ul> <p>(3) -2 共助による防災まちづくり</p> <p>①調査・審議過程のアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共助に関する行政の取組把握</li> <li>・共助による防災まちづくり事例収集</li> <li>・共助による防災まちづくり講演</li> </ul> <p>②課題解決に向けたアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子母口北町会防災訓練への参加</li> </ul> <p>(4) 提言</p>

IV 区民会議の認知度向上の取組	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 区民会議ニュース（全号掲載）</li> </ul>
V 第6期高津区区民会議の振り返り	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 第6期高津区区民会議の総括</li> <li>• 各委員の感想</li> </ul>
資料編	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 区民会議フォーラムの結果</li> <li>• 関係規定</li> <li>• 委員・参与名簿</li> </ul>





発行日：2018（平成30）年1月

発行：第6期高津区区民会議（事務局：高津区役所企画課）

Tel:044-861-3131 Fax:044-861-3103

E-mail: 67kikaku@city.kawasaki.jp

アイデアを実行に！行動する高津区区民会議

## いよいよ第6期高津区区民会議も総括の時期へ！

新年あけましておめでとうございます。平成28年7月にスタートした第6期高津区区民会議、今年度も残すところあと3か月となり、いよいよ総括の時期へ入りました。今号も前回に引き続き、二つの部会の取組内容をご紹介します。



### 防災まちづくり部会



#### ■子母口北町会防災訓練で「共助」の重要性をアピール

平成29年11月5日（日）に橘樹神社で開催された子母口北町会の防災訓練に参加しました。

当日は、地元の中学生を含む約80人が参加し、車椅子の操作講習、放水訓練、心肺マッサージ講習等を体験しました。区民会議では、共助の意識を高めようための「防災〇×クイズ」を実施。終了後のアンケートでは、多くの方から共助の意識が高まったという回答を得ました。また、障害を持った方たちの避難支援のあり方等、今後の課題も明らかになるとともに、改めて日頃からの顔の見える関係づくりの重要性を確認しました。



#### あなたも〇×クイズにチャレンジしよう！（実際に実施したものから抜粋）

- 問1 避難所の運営の実施主体は、学校の先生である。〇 or ×？  
 問2 阪神淡路大震災では、崩れた建物から救出されたほとんどの人は、消防・警察・自衛隊に助けられた。〇 or ×？  
 問3 地震が発生したので、ひとりで身軽に避難した。〇 or ×？  
 問4 エレベーターの中で地震にあった時は、1階のボタンを押す。〇 or ×？

#### ■共助による防災まちづくり勉強会（10月5日開催）

講師にパークシティ溝の口共同防災管理協議会の山本会長をお招きして、パークシティ溝の口での共助による防災の取組についてお話を伺いました。

パークシティ溝の口では、久本地域にある他の2つのマンション（ザ・タワー&パークス田園都市溝の口、メイフェアパークス溝の口）と連携することで、防災や高齢化問題、修繕のノウハウ等、さまざまな課題解決に取り組んでいます。2016年6月には合同で「炊き出しフェス」を開催し、約1,000人が参加しました。「訓練ではなく、『フ

ェス』としたことで、「楽しみ」「知り合おう」と大勢が参加した」、「ママさんたちの行動力とSNSによる情報発信力が大いに活躍した」、「女性のグループを減災グループと名付けてピンクのエプロンを作る等、楽しいと皆乗ってくれる」といった具体的なアイデアをたくさん聞くことができました。



生き活きまちづくり部会



■区民向け広報パンフレット「みんなで差別をなくしていこう」の完成

障害者差別解消法に関する区民向け広報パンフレットが完成しました。このパンフレットでは、障害者差別解消法の対象となる行政や民間事業者だけでなく、市民一人ひとりが自身の問題として捉えることの必要性を唱え、「障害者差別を無くすための5つのアクション」を提案しています。

このパンフレットは、区役所等の公共施設での配布、町内会・自治会での回覧の他、区民会議のホームページからのダウンロードも可能です。障害のある人もない人も共に暮らせる社会を目指すために、皆様ぜひご一読ください。



■第3取組テーマ「高齢者の生きがいづくり」勉強会（11月16日開催）

高津区老人クラブ連合会の横山会長から、高津区老人クラブの現状について、お話を伺いました。

とくに中高年のサラリーマンは、これまで会社に必要とされることで生きがいを感じている人が多かったと思います。定年退職後は外に出る機会も少なくなり、生きがいを失う人たちが多くなります。そういう人たちに健康づくり、生きがいづくりをしてもらうには、「会社人間」から「社会人間」、「仕事人間」から「ゆとり人間」へ、ライフスタイルを変えることが必要です。そのお手伝いをする団体の一つとして、老人クラブがあります。

老人クラブでは、さまざまなサークル活動、社会貢献活動、旅行、スポーツ大会等を行っています。皆様ぜひ参加してください。生きがいは与えられるものではなく、自ら実現するものなのです。



高津区役所地域みまもり支援センター地域支援担当の北村担当課長から、高津区内における高齢者の地域活動の現状について、お話を伺いました。

高齢者の身体状況を見ると、「何らかの社会参加をしている方が有意に健康である」という結果が出ています。

「高津区地域資源マップ」（平成29年3月）では、230箇所さまざまなグループを紹介していますが、参加したことがない人が多いのも現状です。どのグループでも男性の参加者が少ないので、男性の参加率を増やすことが課題となっています。

高津区の高齢者が生きがいをもって生活し続けられるよう、地域の皆様とともに、多様なニーズに対応した拠点づくりが重要であり、そのためには発想の転換が求められていると感じています。



■防災まちづくり部会O×クイズ答え 問1× 問2× 問3× 問4×

なお、答えの解説、その他の問題について知りたい方は、高津区役所企画課までお問合せください。

区民会議はどなたでも傍聴可能です。会議の開催日程は、市ホームページでお知らせしていますので、関心のある方はぜひ、お越しください。また、調査審議中のテーマに関する御意見等がありましたら、高津区役所企画課までご連絡ください。

【お問い合わせ先】高津区役所 企画課 TEL 044(861)3131/FAX 044(861)3103

ホームページはこちら……

高津区区民会議

検索

